

生命の賛歌よ 心に響け！

2/5

飯館中PTA「教育講演会」



▲講演会のようす

生徒たちの感想

- ・自分一人で生きているのではないと、改めて考えさせられました。
- ・「感動」という言葉は、感じて動くこと。何かを感じても動かなければ本当の「感動」ではないことを学びました。
- ・世界の人々がみんな幸せになれるよう、自分ができることをしたいと思いました。
- ・これからは梅原さんの話を思い出して、自分の生活を見直していきたいです。
- ・たくさんの方に梅原さんの話を聞いてもらえれば、今の日本が変わると思いました。



▲講演する梅原さん

飯館中学校PTA（川村勝彦会長）主催の「教育講演会」が、同校の体育館で開かれました。この日講師を務めたのは、シンガーソングライターの梅原司平さん。講演で梅原さんは、35年にわたるこれまでの活動を振り返りながら、人との出会いの素晴らしさや、感動すること・思いやりの心を持つ大切さなどを弾き語りで講演。会場には、生徒や保護者など約400人が詰め掛け、梅原さんの熱い講演に真剣に耳を傾けていました。

大浦英子さん 満100歳

「いいたてホーム」で賀寿祝い



▲満100歳を迎えられた大浦英子さん

セレモニー

はじめに、相双保健福祉事務所の稲村忠衛副所長から、知事賀寿と記念品、知事直筆の色紙が贈られた後、菅野村長からお祝いの報奨金が、県老人クラブ連合会からも賀寿が贈られました。

賀寿祝い

ホームの職員から英子さんへ花束や記念品がプレゼントされたほか、職員手作りの特製ケーキも用意され、英子さんと職員らが一緒にローソクの

火を吹き消しました。続いて行なわれた祝賀会では、職員らが趣向を凝らした衣装などを着て登場し、唄や楽しい踊りを披露するなど、和やかな雰囲気の中、みんなで大浦さんの賀寿をお祝いしました。



▲稲村副所長から色紙を受け取る英子さん



▲祝賀会でのホーム職員による楽しい余興

故 遠藤榮吉さんに 旭日単光章

1/31



▲鈴木局長から勲章を受け取る光栄さん（写真右）

村議会議員などを務められた故遠藤榮吉さん（前田・八和木）に旭日単光章が贈られました。伝達式は遠藤さんの自宅で行われ、鈴木和夫相双地方振興局長から長男の光栄さんに勲記と勲章が伝達されました。遠藤さんは、3期12年間にわたり村議会議員を、さらに村監査委員や農協理事も務められました。

平成6年には村自治功労章、平成9年には県町村議会議長会表彰も受けられています。



「新たなたびだち」

今年は、飯館村が誕生して丁度50年の節目の年に当たります。したがって、村は合併しないで、これからも飯館村でいくために作った「自立プラン」を、「いいたて立村50年 新たな出発プラン」と名付けました。

一世紀（100年）の折り返しの記念すべき年、「飯館村を汗と苦労でつくってきた先人から感謝しながら、次代を背負う若い方にも加わってもらい、新たな出発をするスタートの年にしたい」という意気込みが、この名前になりました。

このプランの説明に、各地区で懇談会をしているところで、区長さんをはじめ多くの方に苦勞をかけていますが、「村民の生の声」が聞けて大変有意義に進めさせていただいて

います。「自立するなら、もっと少子化に力を入れたい」「負担が大幅に上がると思ったけど、話を聞いて安心した」「他の市町村と比較した数字でもないけど、抽象的で良く分からない」「50年の年なら、こんな企画はどう」などの話がありました。

村民の負担は、他市町村と比べ決して高い方ではなく、むしろ安い方ですが、確かに数字でも示さないと分からないなど反省したところ。少子化対策も、今年度から議会ととも積極的に進めていきます。

いずれにしても、村民の生活を守り、さらに一歩でも向上するよう、事業に取り組んでいくというのが、私たちの務めであり、「飯館村で良かった」と感じていただけるよう職員一丸となって、一生懸命働いていくつもりです。

顔の見える、声の届く範囲であればこそ、村民と行政の「協働」が生まれ、「自らの決定権」が行使でき、そこに「本来の自治」「飯館らしい村づくり」があるといつてよいのではないのでしょうか。

平成18年2月24日

飯館村長 菅野 典雄

子どもたちの心に響くお話

2/10
白石小で
「心のせんせい」

県教育委員会が進める「地域の心のせんせい」事業が白石小（新井川美千枝校長）で行われました。



▲授業のようす



▲自分の卒業アルバムを紹介する佐藤さん

これは、地域の人材を活用した道徳の授業のことで、同校では一昨年から実施しています。今年の講師を務めたのは、同校の元PTA会長・佐藤勝見さん（前田）。今年4回目の授業となったこの日、佐藤さんは5年生を対象に、「人は自然と共生しています。自然や生き物に対して感謝の気持ちを持ちましよう」、「家族と多く会話し、家のお手伝いをして下さい。そこから学ぶことがたくさんあります」など、自身の幼い頃の経験を紹介しながら、自然や物の大切さを講話しました。児童たちは、佐藤さんの話を興味深そうに聞いていました。

飯樋小「箏」演奏鑑賞会



▲鑑賞会のようす

飯樋小（荒川秀則校長）で、遠藤千晶さんを招いて「箏」演奏鑑賞会が行われ、全校児童が箏の響きを鑑賞しました。遠藤さんは福島市出身で、テレビやラジオに出演するなど広く活動されている箏曲演奏家です。鑑賞会では、遠藤さんが童謡や児童に親しみの



▲箏曲演奏家の遠藤さん

ある楽曲などを演奏。鑑賞後には、児童代表が遠藤さんの指導を受けながら「春の海」を練習しました。児童たちは、遠藤さんが奏でる美しい箏の音色に聞き入っていました。

「箏」は、和琴や琵琶などと同じ弦楽器の一種です。

沖縄伝承おもちゃ遊び 親子で楽しく交流



▲おもちゃ作りのようす

沖縄のNPO「沖縄伝承話資料センター」（遠藤庄治理事長）の一行13人が村を訪れ、村民と交流を深めました。

これは、いいたて民話の会（多田宏会長）の招きにより開いたものです。交流会では、村から参加した15組の親子らが、沖縄伝承の巻貝の駒や蘇鉄の実を使ったおもちゃ作りを体験したほか、沖縄に伝わる昔話も披露され、子どもたちは目を丸くして聞き入っていました。また、降り積もった雪で雪合戦をしたり、ソリ乗りをするなど、互いに雪国での交流会を満喫していました。

飯館中「テーブルマナー給食」

飯館中（島義一校長）で3年生を対象にテーブルマナー給食が行われ、生徒たちが洋食の基本的な作法を体験しました。

テーブルマナー給食では、給食センターの調理員がパンやスープ、サラダ、ポークステーキのコース料理を、生徒たちへ一品ずつ配膳。生徒たちはナイフとフォークを使いながら、洋食のテーブルマナーを学びました。

給食後、生徒たちは「思ったより難しい」、「この経験を今後の機会に活かしたい」などと話していました。



▲テーブルマナーを学ぶ生徒たち

ブログで情報発信



やさしい インターネット教室

NTTコミュニケーションズ㈱の社会貢献プログラム「やさしいインターネット教室」が飯館中で開かれ、参加した36人の村民がブログの活用などを学びました。教室では、同社の指導者19人が訪れ、ブログと呼ばれるインターネットを使った情報発信機能について、その作成・活用方法などを分かりやすく説明。参加した村民からは「思ったより簡単だった」、「自宅でもやってみたい」との感想が多く聞かれ、有意義な教室となったようです。



誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ 親の氏名 行政区
佐藤 姫愛ちゃん 徳・かおり 八木沢・芦原
すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏名 行政区
木村 裕一 伊達郡川俣町
相良 よしい 白石
いつまでもお幸せに

おくやみ

氏名	年齢	行政区
田邊 與一	75	関 沢
馬場 ミサ子	52	白 石
鈴木 スミ	94	二枚橋・須萱
大澤 清良	77	草 野
菅野 ユキ子	75	関根・松塚
高橋 キク	69	長 泥
高橋 キミ	91	蕨 平
大内 ヤヨイ	83	八木沢・芦原

ご冥福をお祈り申し上げます

（平成18年1月21日から2月20日までに届け出のあったものを掲載）
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出て下さい。

ひとのうごき （平成18年2月1日現在）

人 口	今月 （前月比）	昨年同期
男	3324人 （-12人）	3373人
女	3362人 （-10人）	3429人
計	6686人 （-22人）	6802人
世帯数	1739戸 （-4戸）	1862戸

◆◆◆ 1月1日～31日までの人口動態 ◆◆◆
転入 1人 転出 14人
出生 2人 死亡 11人

（平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口）
昨年同期は、平成12年国勢調査に基づく現住人口